

松江市出雲玉作資料館

資料館だより

松江市出雲玉作資料館発行

〒699-0201 松江市玉湯町玉造 99-3

開館時間 9 時～17 時 (入館は 16:30 まで)

休館日；月曜日・休日の翌日 TEL・FAX (0852) 62-1040

■9月 13 日 (金) 松江第一中学生 6 名来館。



感想ノートから

「自主研修でここにきました。とても分かりやすくて良かったです。」「久しぶりにきましたが、玉造の歴史について参考になりました。楽しかったのでまた来たいです！！」
皆さん熱心に見学し、うれしい感想を頂きました。

■ 9 月 27 日 (金) 松江湖東中学生 6 名来館。

1 階、2 階の展示を見学後、片岡館長にインタビュー形式で
メモを取りながら疑問に思うことなどを質問されました。



■★秋季企画展【松江藩の焼き物～茶道具から雑器まで～】

令和 6 年 10 月 23 日 (水) ～11 月 24 日 (日)

江戸時代、永原・雲善窯(布志名)、楽山焼が主に大名への贈答品である茶道具をつくっていました。また、久村焼、意東焼では雑器をつくりており、母里藩や広瀬藩でも窯を操業していました。それらの作品を紹介し、藩窯の盛衰を辿ります。当資料館で初となる貴重な作品も展示します。是非この機会にご覧いただきますようご案申し上げます。

楼閣山水図水指(久村焼)

■今月の一品 作品名：木製銀漆小皿

製作作者：松崎 融 (1944 年～) 制作年代：昭和時代～



松崎氏は現在、栃木県茂木町で木漆作品の製作を一貫して一人で行っています。30 歳の時に人間国宝の島岡達三氏のアドバイスを受けながら木漆を始め使い込むほどに美しくなるという考えのもとに作品を製作し続けています。作品は、縄文時代や李朝の影響を受けた重厚で温かみのあるデザインが特徴で、国画会の会員として国内外で活躍しています。

この作品は木の特性を生かし、荒々しく削った上で、艶消しの銀漆を塗り、特別なものではなく、素朴な雰囲気をもつ漆器として仕上げています。

■受付横に展示しています。

■10月のロビー展

無料

出雲玉作資料館友の会主催

渡部良和 木工芸 展

10月2日（水）～10月31日（木）



■【休館日のお知らせ】

10/7（月）10/15（火）10/21（月）10/22（火）10/28（月）

10/14（月・祝）スポーツの日は開館します。



■ 11月・12月のロビー展は、栗原哲朗 かずらでつくる花かご展です。